

令和7年度  
児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所  
専門研修②



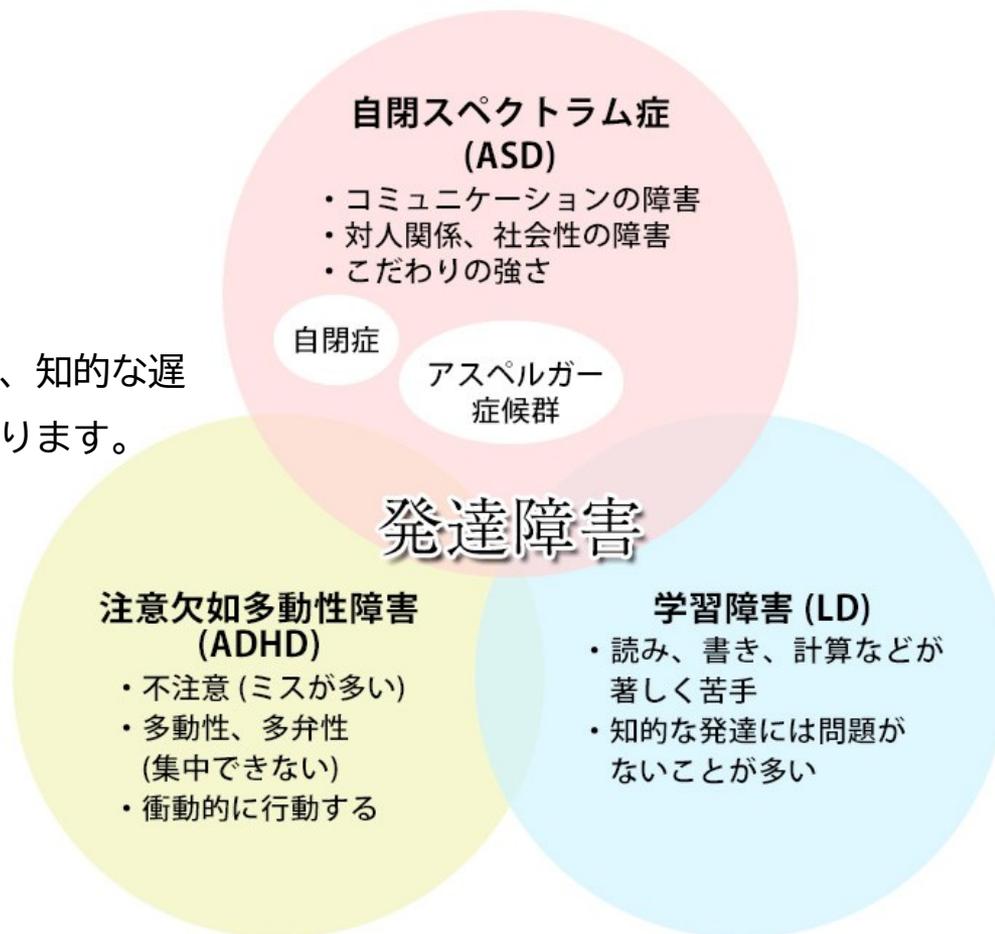
# ストレングスモデルの支援

～できる・得意に注目した支援の組み立て～

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

# 発達障害の3つのタイプ

(社会福祉法人 恩賜財団 済生会 ホームページより)



※ASD/ADHDの方は、知的な遅れを伴うこともあります。

- ・「発達障害」は診断名ではなく、発達障害者支援法で定義されています。
- ・自閉スペクトラム症、注意欠如・多動性障害 (ADHD)、学習障害 (LD) は診断名です。
- ・知的な遅れを伴うのは1/3 (3分の1) 程度といわれています。

# 発達障害の特性

- コミュニケーションと社会性に特性があらわれる
- 強いこだわりや興味関心のかたより
- 感覚過敏または鈍感さ
- 運動面（おおきい運動・ちいさい運動）の不器用さ

# サポートファイル



- ・ 「サポートファイル」は、ご本人が子どものときから大人になってもライフステージで途切れることなく、たくさんの方から支援を受けられることを目的に、ご本人と保護者の方が支援機関と情報を共有するためのファイルです。
- ・ 令和4年度より、新しくなりました。

- ・乳幼児健診や母子手帳と一緒に使うことで、発育や発達をまとめて確認できたり、教育・就労等の相談や、学年や生活の場などがかわっても、引き続き支援が受けやすくなります。
- ・学校や病院などに相談するときも役立ちます。
- ・子どものときから大人になっても、周囲の各機関から継続した支援を受ける時、関係者や支援者がご本人の個性や特徴、これまでの育ちなどを共通理解し、支援や手立てを共有することで、途切れることなく支援が受けやすくなります。

静岡市のホームページよりダウンロードできます。

# サポートプラン(乳幼児期)

## 記載例

<様式B-4> ①

### 乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月～ 月) の個別支援計画

児童名	(男・女)		園長 印	副園長 印	担任 印
	年 月 日	生まれ( 歳 カ月)			
特性・気になる行動	(家庭)				
	(園) 〈例〉 ・多動・衝動性・気が散りやすい ・対人関係(人との関わりや気持ちの理解) ・こだわりや感覚過敏 ・言語理解、表現				
個別対応方法	(家庭)				
	(園) 〈例〉 ・ほめを増やす ・ほめ表 ・スケジュール化 ・手順表 ・絵カード ・ルール作り ・ジェスチャー ・1対1行動で教える ・その他				
配慮事項 (保護者支援を含む)	(家庭)				
	(園) 〈例〉 ・園・学年全体の配慮 ・クラスの配置 ・加配の配慮 ・家庭の配慮 ・医療・専門機関連携				

## 記入用

だれが…

支援者や保護者が

いつ…

本人の入園・進級または相談するとき

<様式B-4> ①

### 乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月～ 月) の個別支援計画

児童名	(男・女)		園長 印	副園長 印	担任 印
	年 月 日	生まれ( 歳 カ月)			
特性・気になる行動	(家庭)				
	(園)				
個別対応方法	(家庭)				
	(園)				
配慮事項 (保護者支援を含む)	(家庭)				
	(園)				

記載例

<様式B-4> ②

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを前に蹴る</li> <li>・階段を一人で一段ごと足を揃えて登る</li> <li>・走る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両足でびよんびよん跳びを楽しませる</li> <li>・足を交互に出して平均台を歩いたり階段登りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が両手をつないで、トランポリンやマット上で両足跳びをしたり低い台から手をつないで飛び降りたりする</li> </ul>
手先の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐるぐるまるを描く</li> <li>・鉄棒などに両手でぶら下がる</li> <li>・積木を横に3〜5個並べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まねて直線を引く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水性マジックで遊ぶ</li> <li>・新聞紙を丸めたり、ちぎったりして遊ぶ</li> </ul>
身辺の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など	<p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな物だけを座って一人で食べる</li> </ul> <p>【排泄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿した事を伝える</li> <li>・パンツは一人でおろす</li> </ul> <p>【睡眠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抱っこで眠る事もある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆と一緒に席に座って食べる</li> <li>・排尿を教える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者がタイミングを見計らって着席後すぐに食べ始められるようにする</li> <li>・保育者が事前に排尿感覚を把握しトイレでの成功体験を重ねていく</li> <li>・排尿したいときの仕草を見逃さずにトイレに誘う</li> </ul>
友達関係 集団活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親から離れて遊ぶ</li> <li>・簡単な手伝いをする</li> <li>・他児の遊びに興味を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と手をつないで歩く</li> <li>・手遊びを楽しむ</li> <li>・友だちに関心をもってみているが、関わりがうまく持たず、突然押ししたり叩いたりしてしまうので友だちとの関わり方を覚える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・触れ合い遊びを通して、人との関わりや手をつなぐ等の楽しさを教えていく</li> <li>・押したり叩いたりする前に、本児の気持ちを汲み取って言葉で代弁していく</li> <li>・「貸して」「入れて」等の場面に合った言葉を保育者と一緒に言いながら知らせていく</li> </ul>
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を見て一つの物の名前を言う</li> <li>・簡単な指示を理解し行動することができる</li> <li>・困った時や嫌な時に大きな声を出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を見ている色々な物の名前が言える</li> <li>・困った時、嫌なときに保育者に伝える</li> <li>・指差しができるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が一緒に絵本や異物を見て指差しをし、物の名前を繰り返し伝えていく</li> <li>・本児の思いを代弁し要求の方法を教えていく(要求カード、身体ログ等)</li> </ul>
こだわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物の順番にこだわる</li> <li>・食べ物の偏りがある(白米、スナック等)</li> <li>・色にこだわる</li> <li>・水が好き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水を使った遊びを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に花の水かけを楽しむ</li> </ul>

記入用

<様式B-4> ②

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身辺の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

# サポートプラン・個別支援計画作成について

## ☆書き方のポイント

- 子どもの特性や行動面に配慮して、個々の成長にあわせたプランをチームで考えます。
- サポートプランは各項目において、子どもの得意なこと、伸ばしたいことを丁寧にアセスメント(見立て)をして、作成をすることができます。

- サポートプランを作成することで、明確な目的をもって支援ができます。
- サポートプランをチームで評価をしていくことで、事業所全体の支援の質を高めることができます。
- 期間を決めることで(1ヶ月、3ヶ月など)、スモールステップでの支援のアセスメントと評価を繰り返すことができます。

- こどもの生活年齢にあわせた接し方、こどもの特性と精神年齢にあわせた伝え方を意識しながら作成してください。
- 「できること」は、こどもの生活年齢だけを意識するのではなく、その子自身に合わせた「できること」を見つけて記入してください。
- 「伸ばしたいこと」は、少しのサポートで「できそうなこと」を肯定的な表現で記入します。否定的な表現は極力避けます。
- たとえば「友達を叩かないようにする」ではなく「友達の肩をトントンする」「かしてと言う」といった表現にします。
- 「座って給食を食べる」よりも「(いただきますの)挨拶から3分座る」といった具体的な数字で表現をすると、支援の結果や効果をより具体的に評価できます。

- 1年でなんとか伸ばそう！と無理に急がず、卒業・卒園までにめいっぱい寄り添ってマイペースで伸ばそう！くらいのイメージから、1年の目標を検討してください。
- ただし、言葉が出ていない、ケガにつながる危険な行動、など早期から支援を必要とすることがあります。保護者と支援者の連絡を密にしながら、優先順位、緊急性など複数の先生でアセスメントして支援することが大切です。なによりも「本人が困っている、不利益をこうむっている」の視点が大切です。
- 「先生のどんな伝え方が分かりやすかった？」「こんな時どんなサポートしてほしい？」「いまの成功の秘訣は？」と本人に聞きながら本人と一緒に作成するイメージをもつことも有効です。本人に成功している場面で、聞き取ることが効果的です（失敗の場面で聞き取ると、ただの反省会になってしまいます）。

## 保護者といっしょに

- 保護者と支援者が一緒に意見を出し合うことで、その子にあった支援計画にすることができます。
- 保護者が成功している関わり方、先生が成功している関わり方、保護者が伸ばしたいと考えているところ、先生が伸ばしたいと考えているところなどを、ぜひ意見交換しながら作成に取り組んでください。

## ☆見立て(アセスメント)をする際に

- 遠城寺式・乳幼児分析的発達検査等の指標を用いると、対象児の目標設定をしていく際の参考になるかもしれません。
- 注意点としては、検査の項目をすべてうめることに支援者が固執しないことです。
- サポートファイル内「園の様子」「学齢期の様子」チェックリストも、本人の強みを理解し、支援を考える際の一助になります。

こども園・保育園・幼稚園の様子 2～3歳用 <様式B-2> ①

だれが... 支援者や保護者が いつ... 本人の入園時または相談するとき

児童名	年少前	年少	記入日 ( 年 月 日 )
			記入者 ( )

1 生活面

1日の生活の流れがわかる (わかる・少しわかる・わからない)

睡眠時間 (起床時間: 時) (就寝時間: 時) (午睡: 時～時)

	一人でできる	一人でほぼできる	介助が必要	全介助
朝の支度や着りの支度が一人でできる	0	1	2	3
一人でズボン・上着を脱くことができる	0	1	2	3
靴を一人ではくことができる	0	1	2	3
排便が一人でできる (排便時間: 時) (自分で言える: はい・いいえ)	0	1	2	3
食事が一人でできる				
手づかみ ( )				
スプーン・フォーク ( )	0	1	2	3
えしそんぼし ( )				
ばねばし ( )				
食事の準備ができる				
食事の片付けができる				

2 活動 (課題・友だちとの遊びなど)

活動の内容・仕方がわかる (わかる・少しわかる・わからない)

活動の見通しが持てる (わかる・少しわかる・わからない)

初めての活動に取り組める (わかる・少しわかる・わからない)

体操・踊りができる				
ボール投げができる				
階段を交互に上ることができるようになる				
絵を描くことができる				
歌を歌うことができる				
ごっこ遊びができる				
集会に参加ができる (朝の会・学年の会)				
公園へ並んで歩いていくことができる				
運動会や行事に一人で参加ができる				

19

こども園・保育園・幼稚園の様子 4歳～6歳 <様式B-3> ①

だれが... 支援者や保護者が いつ... 本人の入園・進級または相談するとき

児童名	年中	年長	記入日 ( 年 月 日 )
			記入者 ( )

1 生活面

1日の生活の流れがわかる (わかる・少しわかる・わからない)

睡眠時間 (起床時間: 時) (就寝時間: 時) (午睡: 時～時)

	一人でできる	一人でほぼできる	介助が必要	全介助
朝の支度や着りの支度が一人でできる	0	1	2	3
着替えが一人でできる	0	1	2	3
排便が一人でできる (排便時間: 時) (自分で言える: はい・いいえ)	0	1	2	3
排便が一人でできる	0	1	2	3
食事が一人でできる				
手づかみ ( )				
スプーン・フォーク ( )	0	1	2	3
えしそんぼし ( )				
ばねばし ( )				
食事の準備ができる	0	1	2	3
食事の片付けができる	0	1	2	3

2 活動 (課題・友だちとの遊びなど)

活動の内容・仕方がわかる (わかる・少しわかる・わからない)

活動の見通しを持てる (わかる・少しわかる・わからない)

初めての活動に取り組める (わかる・少しわかる・わからない)

	一人でできる	一人でほぼできる	介助が必要	全介助
体操・踊りができる	0	1	2	3
サッカーやドッチボールができる	0	1	2	3
工作ができる (ハサミを使う等)	0	1	2	3
絵を描くことができる	0	1	2	3
歌を歌うことができる	0	1	2	3
楽器を演奏することができる	0	1	2	3
クラス以外の集団活動に参加ができる (学年全体・園全体)	0	1	2	3
遠足に一人で参加ができる	0	1	2	3
運動会に一人で参加ができる	0	1	2	3

23

(静岡市サポートファイル)

## こども園・保育園・幼稚園の様子

### 2～3歳用・4歳～6歳

- こどもの見立てができます。
- サポートプラン・個別支援計画作成の  
アセスメントにできます。
- 複数の先生が記入したり、保護者にも  
記入をしてもらって比較できると、より  
複数の視点で見立てることが  
できます。生活の場によって、こどものあ  
らわれが同じであったり違ったりする  
ことが分かります。
- 先生は○で保護者は☆マークで  
チェックすると、園と家庭でのあ  
らわれの違いの「ある・なし」が  
確認できます。

学齢期の様子(個別の教育支援計画(アセスメント)) <様式C-1> ①

支援者や保護者が「本人の入学・進級または相談するとき」

児童名( )

記入日( 年 月 日) 記入者(氏名: ) 職柄: )

各項目の当てはまることに○をつけてください

1. 学習面について

(1) 聞く

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
聞き取りがある(「知った」「行った」と聞き間違える)	0	1	2	3	
聞き流しがある	0	1	2	3	
個別に言われると聞かれるが、集団場面では聞かない	0	1	2	3	
指示の理解が難しい	0	1	2	3	
話したいが難しい(話しの流れが理解できず、ついていけない)	0	1	2	3	
その他( )					

(2) 話す

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
適切な速さで話すのが難しい(スピードとして話す、とても早口である)	0	1	2	3	
言葉につまったりする	0	1	2	3	
単語を羅列したり、短い文で内容的に足りない話をよくする	0	1	2	3	
話にくくまよってしまう、話の趣意が通じない話をよくする	0	1	2	3	
内容をわかりやすく伝えるのが難しい	0	1	2	3	
その他( )					

(3) 読む

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
読むべき文章が読めず、音読もあまりできない語句などを読みかえる	0	1	2	3	
文中の語句や字を抜いたり、繰り返しまよったりする	0	1	2	3	
音読が難しい	0	1	2	3	
読みかたがわからない(「いきました」と読む)	0	1	2	3	
文章の要点を正しく読みとることが難しい	0	1	2	3	
その他( )					

(4) 書く

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
読みかたがわからない(字の形や大きさが書けていない、まっすぐに書けない)	0	1	2	3	
意味が通じず、文章が読めない	0	1	2	3	
漢字の読みかたがわからない	0	1	2	3	
句読点が書けない、正しく打てなかったりする	0	1	2	3	
読まれた文章の文法や決まったパターンが書けない	0	1	2	3	
その他( )					

31 (静岡県サポートファイル)

(5) 計算する

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
学年相応の数の数や表し方についての理解が難しい(3乗や7乗など4乗や5乗と区別できず、分数の大きい方が分数の値として大きいと思っている)	0	1	2	3	
簡単な計算が理解できない	0	1	2	3	
計算をするのにも時間がかかる	0	1	2	3	
答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(図定数の場合、2つ以上の量を必要とする計算)	0	1	2	3	
学年相応の文章題を解くのが難しい	0	1	2	3	
その他( )					

(6) 推論する

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
学年相応の量の比較をすることや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較、「15cmは150mm」ということ)	0	1	2	3	
学年相応の図形を解くことが難しい(丸やひし形などの図形の周角、見取り図や展開図)	0	1	2	3	
事象の因果関係を理解するのが難しい	0	1	2	3	
目的に応じて行動を計画し、必要に応じてそれを修正するのが難しい	0	1	2	3	
単点や複数の視点から考える	0	1	2	3	
その他( )					

2. 行動面について

(1) 不注意

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
学校の始末で、帰りたいところまで注意を払わなかったり、不注意な発言をしたりする	0	1	2	3	
課題や遊びの活動に注意を集中し続けるのが難しい	0	1	2	3	
話を聞いていないかのように見える	0	1	2	3	
指示に従わず、また活動を最後までやり遂げない	0	1	2	3	
学習課題や活動を終わらせてやり残すことが多い	0	1	2	3	
集中して努力を続けなければならない課題(学校の勉強や宿題等)を続ける	0	1	2	3	
学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう	0	1	2	3	
忘れ物が多い	0	1	2	3	
日々の活動で遅れが多い	0	1	2	3	
その他( )					

33 (静岡県サポートファイル)

# 学齢期の様子

## <個別の教育支援計画(アセスメント)>

- 複数の先生が記入したり、保護者にも記入をしてもらって比較できると、より複数の視点で見立てることができます。生活の場や集団の大きさによって、あらわれが同じであったり違ったりすることが分かります。
- 先生は○で保護者は☆マークでチェックすると、学校と家庭でのあらわれの違いの「ある・なし」が確認できます。

(2) 多動性-衝動性 <様式C-1> ③

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
手足をそれわくわくしたり、顔赤していてももしもする	0	1	2	3	
授業中や座っているべき時に座を離れてしまう	0	1	2	3	
きちんとしないけれども必要な時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする	0	1	2	3	
遊びや授業活動からとにかく逃げ出すことが難しい	0	1	2	3	
じっとしていらぬ、またほかに取り立てられるように活動する	0	1	2	3	
適度にしゃべる	0	1	2	3	
質問が終わらぬ内にし出し続けに書えてしまう	0	1	2	3	
言葉をつづが難しい	0	1	2	3	
他人がしていることをまねたり、じゃまったりする	0	1	2	3	
その他( )					

3. 対人関係について

(1) 社会性

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
目と目で見つめあう、身振りなどの多彩な非言語的行動が困難	0	1	2	3	
同年齢の子と仲良く遊ぶことが困難である	0	1	2	3	
楽しい気持ちや他人と共有することや気持ちの交流が困難である	0	1	2	3	
言葉と非言語的行動が一致しない、言葉の意味が通じない	0	1	2	3	
友達とそばにいるが、一人で遊んでいる	0	1	2	3	
競争ゲームをする時、仲間と協力してプレーすることが難しい	0	1	2	3	
色々なことを話すが、そのときの状況や相手の感情、立場を理解しない	0	1	2	3	
共感を感じるのが難しい	0	1	2	3	
周りの人が怒怒するようなことも、配慮なしで書てしまう	0	1	2	3	
その他( )					

(2) コミュニケーション

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
話し言葉の流れがあり、身振りなどで補おうとしない	0	1	2	3	
他人と話題を切り替える能力に明らかに困難性がある	0	1	2	3	
質問や疑問の言葉の活用が乏しい	0	1	2	3	
その場の状況に合わせた文法で自然な話し言葉が書けない	0	1	2	3	
自分の話の相手も聞き取れない	0	1	2	3	
変な言葉や表現の不当な使用がわかる	0	1	2	3	
質問に言葉で答えていないことがある	0	1	2	3	
会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、聞き取りづらかったりすることがある	0	1	2	3	
その他( )					

35 (静岡県サポートファイル)

(3) こだわり <様式C-1> ④

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
強いこだわりがあり、限定された興味だけに集中する	0	1	2	3	
特定の言葉や手帳にたかになくこだわる	0	1	2	3	
反復的な変わった行動(例:手や指をバタバタさせる等)をする	0	1	2	3	
物事に持続して集中する	0	1	2	3	
みんなから「○○博士」「○○教授」と思われている(例:カンニング等)	0	1	2	3	
自分の子どもは興味がないようなことに興味があり自分の知識の世界を持っている	0	1	2	3	
言葉の世界(ファンタジー)に没入することがあり、現実と区別がつかない場合がある	0	1	2	3	
特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をちゃんと理解していない	0	1	2	3	
どこでも遊べるのが好きで、帰りに苦手なものがある	0	1	2	3	
ある行動や考えに強こだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなる	0	1	2	3	
自分だけの強執や手帳や興味があり、変化や変更が難しい	0	1	2	3	
その他( )					

(4) その他

	はい	常に	時々	ほとんど	よく
特定の行動が得意なことがある	0	1	2	3	
動作やジェスチャーが正確でない、手先が不器用	0	1	2	3	
感情の切り替えが難しい(例:特定の音を聴くと泣く、触られることをと嫌がる、過度な褒賞、さらさらした物を見るのが大好き、グニャグニャした物を触るのが大好き等)	0	1	2	3	
その他( )					

3. その他について

種 別	主な様子
-知的発達	学齢期中心
-情 感	不安感
-認 知	記憶力
-語 言	発音
-運 動	運動能力
-社会性	対人関係
-健康	健康状態

37 (静岡県サポートファイル)

記入用 だれが… 支援者や保護者が いつ… 本人の入園・進級または相談するとき

<様式B-4> ①

乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月 ~ 月 ) の個別支援計画

児童名	(男・女)	唐氏	副唐氏	担任
年 月 日生まれ ( 歳 カ月)	印	印	印	印

幼  
少  
期

特性・気になる行動	(家庭)  (園)
-----------	-----------------

個別対応方法	(家庭)  (園)
--------	-----------------

配慮事項 (保護者支援を含む)	
--------------------	--

27

記入用

<様式B-4> ②

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身辺の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼  
少  
期

29

(静岡市サポートファイル)

## 乳幼児期のサポートプラン

- 苦手なことを書き連ねて、保護者も本人も「見るのがつらい」ものにしないことが大切です。
- 本人と保護者が、大切にされていると感じるものにしてください。
- 「得意なところ」と「苦手なところ+成功しやすいサポート」を書いていきます。
- 「サポートプラン」は、いま先生や支援者が地道にコツコツとすでに実施している支援やプランを記入します。
- 保護者の意向や関わり方も聞き取りながら、作成していくことをおすすめします。

記入用

だれが…

支援者や保護者が

いつ…

本人の入園・進級または相談するとき

< 様式B-4 > ①

乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月 ~ 月 ) の個別支援計画								幼 少 期
児童名	(男・女)	園長		副園長		担任		
	年 月 日生まれ ( 歳 カ月 )	印		印		印		

特性・気になる行動	(家庭)  (園)
個別対応方法	(家庭)  (園)
配慮事項 (保護者支援を含む)	

①基本的な項目

- ・氏名・性別・生年月日など基本的な情報を書きます。
- ・記入者やいつの時期に作成したかなどを記入しておきます。

記入用

だれが…

支援者や保護者が

いつ…

本人の入園・進級または相談するとき

<様式B-4> ①

乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月 ~ 月 ) の個別支援計画

児童名	(男・女)	園長	副園長	担任
年 月 日生まれ ( 歳 カ月)	印	印	印	印

幼  
少  
期

特性・気になる行動	(家庭)	(園)

個別対応方法

(家庭)

## ポイント

- ・苦手なことが家庭では出にくいタイプの子どもがいます。
- ・たとえば、園では給食を食べるのに時間を要する⇔家庭では座って食べられる(⇒家では困ってません)
- ・環境によって、あらわれる特性が異なるため、家庭での様子やあらわれはサポートプランを作成するヒントにもなります。

## ②特性・行動面

- ・(家庭)と(園)の項目があります。作成の際に家庭の協力が得られる、または家庭での様子を保育士が聞いている場合には分かる範囲で記入します。
- ・(家庭)の欄が記入できない場合には、(園)の欄のみ記入します。
- ・ここでは、子どもの特性の中から特に得意なところや気になるところを記入します。  
⇒「得意なこと」「伸ばしたいこと」項目のダイジェスト版

記入用

だれが…

支援者や保護者が

いつ…

本人の入園・進級または相談するとき

<様式B-4> ①

乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月～ 月) の個別支援計画

児童名	(男・女)	園長	副園長	担任
年 月 日 生まれ ( 歳 月)	印	印	印	印

幼少期

特性・気になる行動	(家庭)
	(園)
個別対応方法	(家庭)
	(園)
配慮事項 (保護者支援を含む)	

### ③個別サポート方法

- ・(家庭)と(園)の項目があります。
  - ・現在おこなっているサポートプランを中心に記入します。
- ⇒「サポートプラン」項目のダイジェスト版

### ポイント

- ・ほめる、がんばり表、視覚支援、スモールステップなど、どの項目でもうまくいきそうなサポート方法を見つけていきます。
- ・支援の順番を決めておくことも有効です。たとえば、指さし、声かけ、体をそえて支援の優先順位をつけておくなど。

記入用

だれが…

支援者や保護者が

いつ…

本人の入園・進級

乳幼児期のサポートプラン

年度 ( 月～ 月) の個別支援計画

児童名	(男・女)	園長	副園長
年 月 日生まれ ( 歳 カ月)	印		印

特性・気になる行動	(家庭)
	(園)

個別対応方法	(家庭)
	(園)

配慮事項 (保護者支援を含む)	
--------------------	--

## ポイント

- ・園での支援が上手に保護者に伝わると、家庭と園の連携がしやすくなります。
- ・保護者への伝え方などを記入しておくことも有効です。

## ④ 配慮事項

- ・こだわりやアレルギーなどについて記入します。
- ・園内活動と園外活動で支援が変わることがある、初めての場所などの支援で必要な配慮を記入します。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼少期

## ⑤ できること

- ・子どものできること・得意なことを記入します。
- ・定型発達の子どもと比べるのではなく、その子自身の得意なことを記入していきます。
- ・最初に(縦に)「できること」項目を記入しても良いですし、(横に)「全身運動」項目から記入していくでも良いです。書きやすい方を選んでください。

## ポイント

- ・「できること」の項目をたくさん記入できると、サポートプランで良い行動を増やすプランが立てやすくなります。
- ・支援者が子どもを肯定的に見られる力がついていきます。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身辺の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

## ⑥伸ばしたいこと

- ・子どもの伸ばしたいこと、できにくいこと、苦手なことを記入します。
- ・定型発達の子どもと比べるのではなく、その子自身の伸ばしたいことを記入していきます。
- ・文章は、「〇〇ができる」「□□が苦手である」といった文面が混在しても良いです。

## ポイント

- ・この項目はサポートプランを作成する場合の短期目標にもなっていきます。
- ・「□□が苦手である」という表現をする場合には、否定的な印象にならないように書く配慮をします。
- ・具体的に記入することで、その子どもの伸ばせるポイントが見つかります。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			

### ポイント

・いよいよサポートプランです。サポートプラン項目は、子どもがひとりで全部できることが目標ではありません。スモールステップの積み重ねが最終的な子どものスキルアップにつながっていきます。

・信頼できる大好きな先生が関わること自体が、すでに子どもにとっては「魅力的なほめ」と同じ効果をもっています。

### ⑦サポートプラン

- ・子どもが少しの努力とサポートでできることをプランにします。
- ・ほめる、がんばり表、スモールステップ、視覚支援等を具体的に記入していきます。
- ・最初はなるべくチームでとにかく多くのアイデアを出していきます。その中から優先順位をつけて記入していきます。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の辺の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			

幼

## ⑧全身運動

・体の使い方をみていきます。  
・バランスはどうか、複数の動作を同時にできるか、といった視点に立ってみていくと良いと思います。

## ポイント

- ・スモールステップを意識するとサポートプランが立てやすくなります。  
(例:なわとびを前まわしでとぶ)
- ・子どもの得意なことを発展させたプランも良いと思います。
- ・一緒に体を動かすのも立派なプランです

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼少期

### ⑨手先の運動

- ・手先の使い方をみていきます。
- ・手先の使い方の不器用さがあるのか、経験不足なのか、といった視点でみていきます。

### ポイント

- ・目と手の協応を意識します。
- ・はさみや線を書く時などに、シールや点などで終点のポイントをつける、線を太くする、細い鉛筆ではなくマジックを使う、一緒に手をそえる、といった環境をととのえる支援も有効です。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼少期

## ⑩身の自立

- ・着替え、食事、排泄など生活の中での自立についての項目です。
- ・毎日必ず支援の機会がある項目でもありますので、一番サポートプランの効果がやすい項目でもあります。

### ポイント

- ・日常生活の流れの中でプランを考えていきます。
- ・毎日支援できること、家庭でも同じやり方ができることから、もっともサポートプランの効果を発揮しやすい項目かもしれません。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼少期

### ⑪ 友達関係 集団活動

- ・発達障害の核となる苦手さのひとつです。
- ・スモールステップのプランを考えます。
- ・子ども同士で遊ぶことをゴールに、まずは大人と子どもであれば遊べる、といったことからスタートすると良いかもしれません。

### ポイント

- ・遊び以外にも、課題中に座っていられるか、といったこともあると思います。
- ・座る時間を意識するとともに、課題の難易度が適切かどうかを考慮にいれると、プランが立てやすくなります。

## ⑫発語・ことばの理解

- ・コミュニケーションの項目です。
- ・定型発達と比べると、発語とことばの理解に差がある場合があります。を知っておく必要があります。
- ・言葉は遊びの中で支援をすると、伸びやすいです。ままごとや玩具の貸し借り場面などが有効です。

幼少期

友達関係  
集団活動

言語

- ・発語
- ・ことばの理解
- ・気持ちの伝え方

こだわり

サポート結果

## ポイント

- ・子どもが表出した言葉を、大人がまねてあげることも有効です。たとえば、A君「おーだい」先生「よく言えたね、ちょーだい、だね」と笑顔で玩具を渡す、といったやりとりを楽しみながらおこないます。
- ・コミュニケーションには、音声のみではなく、クレーンやジェスチャーも含まれます。支援者が音声のみにこだわらないことも必要です。

## ポイント

- ・こだわりについては、すぐにかえることができないものもあります。
- ・こだわりをかえることで、新たなこだわりができてしまうこともあります。
- ・そのこだわりに支援をする必要があるのかないのか、チームで考えた方が良い場合があります。

友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

## ⑬こだわり

- ・こだわりには、それによって子ども自身も困っている場合と、困っていない場合があります。
- ・まずは、そのこだわりが許容される範囲なのか、支援をした方が良いのか考えることからスタートします。

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
・こと ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

幼少期

### ポイント

- ・プランを評価する場合、または見直す場合には、効果があったかどうかをみる必要があります。
- ・プランによって10回のうち8回できれば成功、10回のうち4回成功はもう少しプランを見直す、といった具体的な子どものあらわれの変化でみていくと良いと思います。

### ⑭サポート結果

- ・サポートプランの結果を記入します。
- ・成功したプランについては、お子さんの受け入れやすい支援でもあるので、次回のプランにも反映できます。
- ・うまくいかなかったプランも丁寧に分析をすることで、次回のプランにいかすことができます。

学齢期のサポートプラン(個別の教育支援計画(長期支援計画)) <様式C-2> ①

それがいつか  
 支援者や保護者が 本人の入学・進級または相談するとき

年度	学校名	学年
氏名(ふりがな)		

	学 級	家 庭	支援者との連携 (連絡・きりり等)
伸ばしたいこと	学習面	学習面	学習面
困る点	生活面	生活面	生活面

目 標

支援者	学校 担任
( )	( )
サポート プラン	

内容確認 年 月 日 保護者・担任

サポート 結果	
------------	--

確認日: 年 月 日

学齢期のサポートプラン(個別の教育支援計画(中期支援計画)) <様式C-2> ②

記入日( 年 月 日 第 学年) 記入者( )

	得意なこと	伸ばしたいこと	サポートプラン
身辺の自立 ・食事 ・着替 ・靴履など			
1日の生活の流れ ・物の位置 ・授業の順番 片付け ・教室移動 ・給食の位置 ・給食出席 ・掃除など			
学 習 ・国語 ・算数・数学 ・理科 ・社会 ・外国語(英語) ・音楽 ・図工・美術 ・技術家庭 ・保健体育 ・体育 ・書写			
行 事 ・運動会 ・修学旅行など			

<様式C-2> ③

集団参加 ・朝礼 ・学年集会など			
コミュニケーション ・友達との関係 ・大人との関係 ・特定の 人との関係			
内 容 確 認	保護者のサイン _____年 月 日		
サポート結果 (課題)	(成果)		

## 学齢期のサポートプラン

### 〈個別の教育支援計画(長期支援計画)〉

- 苦手なことを書き連ねて、保護者も本人も見るのがつらいものにしないことが大切です。
- 本人と保護者が、大切にされていると感じるものにしてください。
- 「得意なところ」と「苦手なところ+ 成功しやすいサポート」を書いていきます。
- 「願う姿」は次の目標とする姿くらいのイメージの記載で良いと思います。
- 「サポートプラン」はいま先生が地道にコツコツすでに実施している支援やプランを記入します。
- 保護者の意向や関わり方も聞き取りながら、作成していくことをおすすめします。

学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（中期支援計画）〉〈様式C-2〉②

記入日（ 年 月 日 第 学年）記入者（ ）

	得意なこと	伸ばしたいこと	サポートプラン
身の自立 ・食事 ・排泄 ・着脱など			
1日の生活の流れ ・朝の支度 ・授業の用意 ・片付け ・教室移動 ・給食の支度 ・給食当番 ・掃除など			
学 習 ・国語 ・算数・数学 ・理科 ・社会 ・外国語(英語) ・音楽 ・図工・美術 ・技術家庭 ・保健体育 ・音楽 ・書写			
行 事 ・運動会 ・修学旅行など			

学  
齢  
期

⑮1日の生活の流れ

- ・様々な項目が含まれます。「朝の仕度」などルーティーンの内容は定着しやすいです。
- ・「片付け」は場面により内容が変わりますが、共通して出来ていることをまず整理します。
- ・「授業の用意」など内容が日によって変わるものはハードルが高くなるので、サポートも手厚くします。

ポイント

- ・項目を細かく分け、できているところ、つまづいているところ、つまづきの要因などを整理するとサポートのヒントがみえてきます。
- ・できるようになってきたら、徐々にサポートの内容を変えていきます。

学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（中期支援計画）〉〈様式C-2〉②

記入日（ 年 月 日 第 学年）記入者（ ）

	得意なこと	伸ばしたいこと	サポートプラン
身の自立 ・食事 ・排泄 ・着脱など			
1日の生活の流れ ・朝の支度 ・授業の用意 ・片付け ・教室移動 ・給食の支度 ・給食当番 ・掃除など			
学 習 ・国語 ・算数・数学 ・理科 ・社会 ・外国語(英語) ・音楽 ・図工・美術 ・技術家庭 ・保健体育 ・音楽 ・書写			
行 事 ・運動会 ・修学旅行など			

### ポイント

- ・学校や家庭で既に取り組んでいる方法や支援の枠組みがあれば統一してけると良いと思います。
- ・どの教科は得意でどの教科が苦手なのか、読み書きに課題があるのか、どこまで理解しているか、など詳細な確認を。

### ⑬学習

- ・学齢期だと大きなテーマとなる項目ですが、学校や家庭との連携、情報共有が重要になると思います。
- ・本人が学ぶことを嫌にならないよう、どこから、どのくらいの量で支援をしていくのかを考えます。

学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（中期支援計画）〉〈様式C-2〉②

記入日（ 年 月 日 第 学年）記入者（ ）

	得意なこと	伸ばしたいこと	サポートプラン
身の自立 ・食事 ・排泄 ・着脱など			
1日の生活の流れ ・朝の支度 ・授業の用意 ・片付け ・教室移動 ・給食の支度 ・給食当番 ・掃除など			
学 習 ・国語 ・算数・数学 ・理科 ・社会 ・外国語(英語) ・音楽 ・図工・美術 ・技術家庭 ・保健体育 ・音楽 ・書写			
行 事 ・運動会 ・修学旅行など			

学  
齢  
期

### ポイント

事業所の支援の中では直接対応することはありませんが、「イレギュラーな出来事」に対して、どう準備し、対応するかを一緒に考えていただくと良いかと思えます。  
 （例：予行練習、写真などを見てイメージを持っておく、困った時に誰に相談するかの確認など）

### ⑰行事

・学校では、運動会や遠足など日帰りの行事の他に、高学年になると宿泊訓練など負荷が大きい行事も出てきます。

集団参加 ・朝礼 ・学年集会など			
コミュニケーション ・友達との関係 ・大人との関係 ・特定の 人との関係			
内容確認	保護者のサイン _____  年 月 日 _____		
サポート結果	(成果)  (課題)		

### ⑱ 集団参加

- ・放デイ事業所で過ごす時間にもみえる項目です。
- ・集団活動に参加する場面は生活の中で多くあります。どの場面で出来ているか、苦手な集団活動は何か、時間はどのくらい参加できているのか、現在はどのように参加しているのか、などがサポートプラン組み立てのヒントになります。

### ポイント

- ・何が本人にとって負担になっているかを見極め、その負担を取り除くことで、参加しやすくなることもあります。  
 (例: イヤマフをして騒音を消す、整列は一番前にして友達の動きが目に入りにくくする、口頭の発表ではなく紙に書く、など)

集団参加 ・朝礼 ・学年集会など			
コミュニケーション ・友達との関係 ・大人との関係 ・特定の 人との関係			
内容確認	保護者のサイン _____		年 月 日 _____
サポート結果	(成果)	(課題)	

学

### ⑱コミュニケーション

- ・放デイ事業所で過ごす時間にもあらわれが見える項目です。
- ・友達と積極的に関わりたいのか、社会生活上必要なコミュニケーションスキルを身につけたいのか、など、様々な目標設定が可能です

### ポイント

- ・本人はどうしたいか(友達と積極的に関わりたいのか、一人でいる方が落ち着くのか)も確認すると、プランの内容も変わってきます。
- ・非言語的なコミュニケーションスキル(パーソナルスペースの理解、アイコンタクトなど)についても確認できると良いと思います。

## ☆チームでサポートプランを作成するメリット

- サポートプランのアイデアを出し合うことで、たくさんのプランを作成できます。
- アイデアを出し合う場では、とにかくたくさん出すことが目的です。現実的か非現実的かを問わず、まずはアイデアを出します。
- アイデアがたくさん出されたところで、実際に実行ができそうなものを検討します。

## ☆チームでサポートプランを作成するメリット

- サポートプランは成功することもある、しないこともあります。
- 成功した場合には、またチームで次のステップのプランを作成します。
- 成功しなかった場合でも、サポートプランをチームで作成することで、誰かが悪いのではなく、サポートプラン自体にうまくいかなかった要因を見つけ、丁寧に振り返り見直すことができます。

# ☆移行支援計画書(オプションシート)

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日)記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)	
住所 〒( ) 静岡市( )区( )	
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )	
<現在の様子>	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	
<サポート内容案>	
<他機関との連携>	

ア

- 学年がかわる時、小学校に就学する時、転園する時などに使用します。現在の様子や今までうまくいっている支援を引き継ぐことがしやすくなります。
- 保護者と園の先生が一緒に作成します。
- 保護者から小学校に手渡してもらうことで、個人情報にも配慮することができます。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日) 記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)  
住所 〒( ) 静岡市( )区( )  
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )

<現在の様子>

特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	

①基本情報

・基本情報を記入します。

ポイント

・移行支援計画書は本人をまだ知らない先生が受け取ることが多いシートです。そのため、苦手なことばかり記入されたシートになってしまうと、渡す保護者もつらい、受け取る先生も苦手なことが多い子と、誤解をしてしまいます。全体の文面は得意なところを中心に書き、苦手なところはどのような支援をすればうまくいきやすいかをポイントに記入します。

## ②特性・行動面

- ・診断名については、保護者と相談をしたうえで、慎重に記入します。
- ・診断されていても、記入しないことはよくあります。
- ・子どもの特によくみられる特性を記入します。

### 《オプションシート》

#### 移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日)記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)  
住所 〒( ) 静岡市( )区( )  
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )

<現在の様子>

特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	

オ  
プ  
シ  
ョ  
ン  
シ  
ー  
ト

### ポイント

- ・就学する場合などは、すべてが「はじめて」だらけで不安な気持ちが強いと思います。
- ・はじめての場面で有効なサポート方法を記入すると、受け取る支援者が配慮でき、良い信頼関係のスタートをきることができます。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日) 記入者( )

氏名( ) (男・女)	生年月日( )年( )月( )日( 歳)
住所 〒( ) 静岡市( )区( )	
保護者氏名( )	続柄( ) 電話番号( )

<現在の様子>

特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	

生活面	
その他	

### ③コミュニケーション

・発語や言葉の理解の面について記入します。

### ポイント

- ・普段はコミュニケーションがスムーズでも、困った場面、パニックになってしまった場面では、コミュニケーションがうまくいかないこともあります。
- ・そのような時に、クールダウンをするなどの支援をすれば落ち着いて話せるといった支援のヒントがあると良いと思います。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日) 記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)	
住所 〒( ) 静岡県( )区( )	
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )	
<現在の様子>	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	

<サポート内容案>

### ④友人関係

- ・友達との関わり方を記入します。
- ・同じ年齢同士での関わりが苦手な場合でも、大人との関わりで成功しやすい場面などを記入します。

### ポイント

- ・友達と一対一、大人と子どもで小人数、子どもだけで少人数、大きい人数など、友人関係の範囲は様々です。
- ・どの場面が得意で、どの範囲からは支援が必要か、といった視点で考えることもできます。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日) 記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)	
住所 〒( ) 静岡市( )区( )	
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )	
<現在の様子>	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	

<サポート内容案>

## ⑤学習面

- ・就学では大切な情報になる項目です。
- ・視線を先生や黒板に向けられるか、筆圧はどうか、といった様々な視点から必要なことを記入します。

## ポイント

- ・ひらがなを書く時に鉛筆では筆圧が弱い、マジックだと形がとれている、といったように書ける書けないの情報とともに、どのような道具であれば書けるか、といった情報も大切になります。

氏名	
住所	
保護	
特性	
コミ	
友人	
学習面	
生活面	
その他	
<サポート内容案>	
<他機関との連携>	

**ポイント**

- ・子どもが慣れた園ではトイレに行けるが、園外でははじめてのトイレに行けないといった場合があります。そういった場合には、園内と園外でのあらわれの違いを記入すると良いと思います。

**⑥生活面**

- ・生活面について記入します。
- ・子どもが慣れた園では特に支援が必要ない場合は記入する必要はありません。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日)記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)	
住所 〒( )	
保護者氏名( )	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	
<サポート内容案>	
<他機関との連携>	

### ポイント

・感覚過敏などは本人の努力では解決できないことですが、その情報がないとはじめて関わる支援者は配慮をうまくできない場合があります。なるべく丁寧に記入していただくと移行がスムーズになります。

### ⑦その他

・アレルギー、こだわり、感覚過敏などについて記入します。  
・この項目は子どもと長くつきあっている支援者にしか分からない情報がたくさんあると思います。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

氏名 (住所 〒 (保護者氏名 (	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	
<サポート内容案>	
<他機関との連携>	

## ポイント

- ・園での支援の成果を一番記入できる項目です。
- ・園ではできたのに、、、ということがないように、この項目でサポート方法が引き継がれ、子どもが安心できる配慮が受けられます。

## ⑧サポート内容案

- ・園で実施しており、なおかつ成功しやすい支援を記入します。
- ・視覚支援など具体的に記入するなど、読む人がなるべくイメージしやすいように記入すると、園で成功した支援が引き継がれやすくなります。

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日( 年 月 日) 記入者( )

氏名( ) (男・女) 生年月日( )年( )月( )日( 歳)  
住所 〒( ) 静岡市( )区( )  
保護者氏名( ) 続柄( ) 電話番号( )

<現在の様子>

特性・行動面

コミュニケーション

友人関係

学習面

生活面

その他

## ポイント

- どの機関まで記入するか保護者と慎重に考えます。
- たとえば、静岡市発達障害者支援センターは「発達障害」という言葉が入っているため、記入しないでほしいという保護者もいます。
- 移行支援計画書は園の先生方ががんばって伸ばしてくれた子どもの支援が、園の延長線上に支援が続くことを願って作成をしてください。

<他機関との連携>

## ⑨他機関との連携

- 連携している機関を記入します。

ありがとうございました。

静岡市発達障害者支援センター「きらり」